

分科会意見への対応(第1分科会)

分科会意見シートに分科会委員より要望や意見等があった項目について記載しています。各論のレイアウトに記載するにあたり、対応の可否について検討いただき、検討結果について記載をお願いします。

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策1 地域コミュニティ・学び(全体)		
1	・課題の記載のレベル感にばらつきがあるので、レベル感をあわせてほしい。	今回お示しする各論シートにおいては、展開方向ごとのレベル感の統一についても意を用いています。
【施策名】施策1 地域コミュニティ・学び(展開方向1)		
2	・地域自治システムの今後の取組について、行政側の体制の変化は見えるが、パートナーシップを組む市民側の体制や仕組みが見えてこないなので、書きぶりを工夫してほしい。	ご指摘の点に係る認識については、前回の分科会でお示した「各論シート」における「課題」の2点目、6点目、9点目、「取組項目」の1点目、7点目に盛り込んでおり、この考え方を踏まえて、今回お示しする各論レイアウトを作成しています。
【施策名】施策1 地域コミュニティ・学び(展開方向2)		
3	・単に文化やスポーツを推進するだけでなく、生駒市の100の複合型コミュニティづくりのように、テーマ型のコミュニティや人間関係づくりについても検討してほしい。	本市では、既に市民をはじめとする多様な主体がそれぞれに文化に資する活動を実施しています。行政として、ネットワークの拠点としてこれらをつなぐとともに、地域での文化・芸術活動を支援するなかで、より多彩で豊かな交流の場づくりを推進していきます。
【施策名】施策1 地域コミュニティ・学び(展開方向3)		
4	・歴史を学ぶことで防災にもつながるので、未来に生きる形の歴史の活用をお願いしたい。	ご意見を踏まえ、各論レイアウト「4 主な課題」の表現を「歴史遺産を未来に守り伝え、尼崎の歴史を市民自らが学び、まちづくりに活かしていく必要がある。」としています。
【施策名】施策1 地域コミュニティ・学び(展開方向4)		
5	・スポーツの推進という言葉に違和感がある。スポーツの何を推進するのかわからないので、展開方向の名称を再検討してほしい。 ・高齢者も楽しめるスポーツや多様性の概念も含めてほしい	ご意見を踏まえ、各論レイアウト「5 施策の展開方向」における展開方向4の名称を「スポーツに親しむ機会の充実」としています。
【施策名】施策2 人権尊重・多文化共生(全体)		
6	・「暮らしやすいをふつうにしよう」を実現するためには、意識啓発の推進だけでなく、人権問題が起こらない社会づくりを行う必要があり、社会づくりや制度づくりの観点から検討いただきたい。 ・施策目標について、暮らしやすさを「実感できる」で整理してほしい。	・「4 主な課題」に全ての行政施策は人権尊重の視点に基づき取り組む必要がある旨を記入しました。 ・施策目標は「実感できる」に修正しました。(人権計画との齟齬は生じないと判断します。)
【施策名】施策2 人権尊重・多文化共生(展開方向2)		
7	・外国人を受け入れる社会の仕組みづくりの観点で記載内容の肉付けをしてほしい。	ご意見を踏まえ、「5 施策の展開方向②人権に関する相談体制と支援の充実」に、人権計画の外国籍住民のパートに記載している多様性を受け入れる視点を示しました。

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策3 学校教育(全体)		
8	<p>・施策目標が、未来志向の教育が前提になっているが、今後コミュニティスクールなどで地域と学校が一体となって子どもたちを育てていくことが重要となると思うので、その内容を施策目標に反映させてほしい。また、課題や展開方向についても、コミュニティスクール化をより意識した書きぶりにしてほしい。</p> <p>・専門用語が多くあるため、注釈を入れるなど、意味が分かるように工夫してほしい。(「後伸びする力」、「インクルーシブ教育」、「コミュニティスクール」など)</p> <p>・全体を通して尼崎の学校教育の特長は何かということがもっとわかるような書きぶりにしてほしい。</p>	<p>・施策目標を「社会の変化に主体的かつ柔軟に他者と協働しながら対応する力、知識や技能を活用して解決する力、持続可能な新しい社会を創造する力を育む教育をめざします。」としました。</p> <p>・各論レイアウトに注釈を挿入します。 ※ただし、「コミュニティ・スクール」については、本文中に説明とセットで記載することにより注釈は入れません。 →例:「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールの導入」</p> <p>・各論レイアウトに、本市特有の取組(あまっ子ステップ・アップ調査の活用や地域とつながる市立高校の取組など)の要素を反映します。</p>
【施策名】施策3 学校教育(展開方向1)		
9	<p>・英語力向上が必要な理由がわかるように書きぶりも含めて検討してほしい。</p>	<p>・各論のレイアウトへの反映時に、学力向上全体の表現に包含します。</p>
【施策名】施策3 学校教育(展開方向3)		
10	<p>・コミュニティスクールについて、学校が主で地域の意見を反映させるのではなく、地域と一緒に作っていきような書きぶりにしてほしい。</p>	<p>・各論レイアウトの展開方向の取組内容を「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールの導入」とします。</p>

総合計画審議会 第2分科会

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策04 地域福祉・生活支援（全体）		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題については本市が直面している問題をクローズアップして記載してほしい。 ・ソーシャルワークの視点を盛り込んだ(特に「アウトリーチ」「アドボカシー」「エンパワーメント」の3つの要素を散りばめた)記載を検討してほしい。 ・教育機関などの他機関との連携体制について記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「3. 現状」の1つ目に、本市の特徴である「生活保護受給者をはじめ支援を必要とする人が多い～分野ごとの相談支援体制の充実を図ってきた」ことを記載することで、「4. 主な課題」の1つ目の説明で、本市において包括的な支援体制が必要となることを強調する記載としました。 ・「4. 主な課題」の1つ目、2つ目にアウトリーチと権利擁護(エンパワーメント含む)の必要性について記載しました。 ・課題の1つ目に多機関連携による包括的な支援の提供を記載しました。
【施策名】施策04 地域福祉・生活支援（展開方向1）		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援の取組について、内容を記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「4. 主な課題」の3つ目に、「災害時要援護者支援の基盤となる見守り活動等の地域福祉活動を推進するため、市民等が地域の生活課題を共有し、我が事として解決に取り組む意識醸成や環境の構築」が課題であることを記載しました。
【施策名】施策05 子ども・子育て支援（全体）		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・体罰の問題、子どもの権利擁護、障害のある子どもへの支援等の取組の記載が必要ではないか。 ・障害のある子どもやその保護者への支援について記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一定程度の事業を施策として束ねている関係上、一つの取組がその切り口により複数の施策に関連することは多々あることから、総合計画では特に関連の深い施策をいわゆる本籍地とし、その本籍地にのみ記載することとしています。 これを踏まえ、いじめ・体罰の問題などについては、施策3の学校教育に本籍地を置いて取組を進めています。 総合計画では、取組の方向性を記載し、具体的な内容は分野別計画で記載することとなります。ご指摘の「障害のある子どもやその保護者への支援」については、施策の展開方向3の取組1つ目「子どもや家庭への保健・医療等の分野を超えた総合的な支援」として記載し、分野別計画につながる構成としています。
【施策名】施策05 子ども・子育て支援（展開方向3）		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権について、弁護士や警察等との連携についてはどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権については、こども青少年局や教育委員会事務局といった子どもに関する施策を担当する局はもちろんのこと、あらゆる部局が意識しなければならないことだと考えています。とりわけ児童虐待や体罰といった子どもの人権を著しく侵害するような事象に対する取組については、警察や弁護士といった司法分野との連携は必要になると考えています。 今年度設置した「子どものための権利擁護委員会」では弁護士を委員として委嘱し、子どもの人権保障の取組みを進めております。 また、児童相談所の設置に向けましては、警察や司法との連携や弁護士の配置について検討していきたいと考えています。
【施策名】施策06 障害者支援（展開方向1）		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードとして、「自立」と「親亡き後」が並んでいるが、親の支援を前提としているようで矛盾を感じる。 ・グループホーム等の拡充を進め自立を促す支援との関係についても違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「親亡き後」は、障害のある人の重度化・高齢化等を見据えた地域での支援体制(いわゆる、地域生活支援拠点等)の国の資料等において、よく用いられた文言です。本市の分野別計画では、第3期計画(平成27年度～)から「重点課題1」の説明文で使用しているところですが、同計画全体の根本的な考え方を示す「基本理念」において、当事者の「自立」を掲げていることや、ご指摘いただいた内容を考慮し、「自立」に重点を置いた記載に改めることとします。 各論シートの「3. 現状」の2つ目に、改めて自立生活に向けたグループホームの一層の整備について記載しています。
【施策名】施策06 障害者支援（全体）		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に特化した内容は記載できないか。 ・各展開方向の取り組み内容について具体的に記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画では、取組の方向性を記載し、具体的な内容は分野別計画で記載することとなります。障害特性に特化した内容や個別の取組は非常に多岐にわたるため、「3. 現状」の2つ目で、様々な障害にも対応できるサービス提供体制の必要性について記載し、分野別計画につながる構成としています。
【施策名】施策07 高齢者支援（全体）		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材の確保、介護サービスの安定的な継続は今後大きな課題となるため、「生き生き!!あま咲きプラン」の4つ目の柱「基盤づくり」については1つの展開方向として取組を進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材の確保、介護サービスの安定的な継続は、今後の大きな課題と認識しています。このため、展開方向の2つ目「地域の支え合い・基盤づくり」の中で、5月1日より介護職員初任者研修・実務者研修を開始するなど、介護人材の確保について精力的に取組を進めています。

【施策名】施策08 健康支援（展開方向1-2、2）	
8	<p>・心の健康としての引きこもりに関する連携の視点を記載できないか。</p> <p>一定程度の事業を施策として束ねている関係上、一つの取組がその切り口により複数の施策に関連することは多々あることから、総合計画では特に関連の深い施策をいわゆる本籍地とし、その本籍地にのみ記載することとしています。</p> <p>ひきこもりについては、「施策04 地域福祉・生活支援」に包含していません。</p>
【施策名】施策08 健康支援（展開方向2）	
9	<p>・施策名「健康支援」に動物愛護や多頭飼育問題を位置付けていることに違和感がある。</p> <p>多頭飼育問題をはじめとする動物愛護に関する問題は、衛生的な生活環境を維持することにより、健康で安全・安心な暮らしに寄与するものと考えていることから「健康支援」に位置付けています。</p>
【施策名】施策08 健康支援（展開方向1-2、2）	
10	<p>・食に関する取組として、展開方向1-2の食育と2の食の安全は一体的であり、2の方が適しているのではないか。</p> <p>展開方向2は、食を通じて健康で豊かな人間性を育む「食育」についての取組を位置付けており、展開方向3は、食の安心・安全を維持するために、事業者等への検査や啓発等の取組であり、それぞれ取組内容が異なることから展開方向を分けて整理しております。</p>

総合計画審議会 第3分科会

委員からの意見・指摘等を踏まえた、市としての対応を記載

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策10 消防・防災(キーワード)		
1	・「豪雨災害」の追加	<p>・「3 現状」に「豪雨」を追加し、文言整理を行う。</p> <p>→「発生が見込まれる南海トラフ地震に伴う津波や異常気象に伴う高潮・豪雨への備えが引き続き必要である。」</p>
	・「学校防災教育」、「避難所のバリアフリー」の追加	<p>・「5 施策の展開方向」-「展開方向②」中、「大規模災害や感染症まん延下での災害を想定した対応訓練の実施」のキーワードに追加する。</p> <p>→「学校防災教育」は「防災教育」としている。地域防災計画上の防災教育の考え方は学校防災教育を含み、市民、事業者等も対象としている。1.17訓練では、会場となる小・中学校の児童生徒に実動訓練への参加とともに教室で防災に関する説明を行っている。また、訓練参加者(地域住民等)は避難所運営に関するワークショップを行っており、訓練と同時に啓発も兼ねており、これらも防災教育の一環と考えている。</p> <p>→「避難所のバリアフリー」については、学校の施設面における環境整備は年々進んできており、学校の施設特性などの環境を踏まえながら、災害発生時に、避難所において障害のある方が、障害特性に応じた支援を得ることができるよう、避難所生活における運営体制の整備を行い、運営面で各種情報の提供をはじめ、目が届きやすい、声掛けが行いやすい場所への居所設定や通路・動線の確保等、バリアフリーへの配慮に取組むこととしている。避難所運営訓練についても、「バリアフリーへの配慮」を踏まえて実施しているところである。</p>
	・「単身世帯が孤立しないような・・・」について、単身世帯に限定しない記載方法の検討	<p>・「災害時要援護者や単身世帯等が孤立しないような地域での支え合い」という意味を包含するものとして、各論レイアウトにおけるキーワードとしては、「地域での支え合い」とする。</p> <p>→「5 施策の展開方向」-「展開方向②」中、「災害時要援護者の支援の取組(個別支援計画、多様な避難先)」のキーワードに記載している。</p>
【施策名】施策10 消防・防災(展開方向2)		
2	・企業の防災へのかかわり方が想起できる表現の検討。	<p>・「5 施策の展開方向」-「展開方向②」中、「大規模災害時の防災体制について整備を進めるとともに、市民、事業者、民間団体、行政機関等との連携を強化し、防災の取組を推進」に修正する。</p> <p>→地域防災計画における基本的考え方として、「市民、事業者、民間団体、行政機関等、多様な主体が相互に連携しながら協働して防災の取り組みを推進する。」としている。</p>
【施策名】施策9 生活安全(キーワード)		
3	・「特殊詐欺」についてキーワードや取組内容で強調できる記載の検討	<p>・「3 現状」に「特殊詐欺が増加傾向である」と記載する。</p> <p>→今後10年の動向まではわからないものの現時点では喫緊の課題であるため、長期的に使えるような表現で記載する。</p>

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策9 生活安全(展開方向1)		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りの観点で、地域福祉との連携を意識した記載方法の検討。 ・外国人への交通安全施策について、外国人の感情に配慮した記載方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4 主な課題」に「関係部署等」と記載する。 →地域福祉との連携については、すでに実施している消費者被害対策に係る箇所で記載する。 ・「4 主な課題」に「高齢者や外国人の方など多様性を踏まえた」と記載する。 →外国人の方の感情に配慮した表現で記載する。
【施策名】施策13 都市機能・住環境(キーワード)		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザイン」「バリアフリー」「生活利便性」の追加及び、展開方向や取組内容への反映の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の「バリアフリー」の視点を、「主な課題」に記載しました。 「生活利便性」の視点は、地域の特性を活かした取組の中に概念を包含しています。 また、「ユニバーサルデザイン」については、広く各分野にまたがる概念でもあるため、改めて取り扱いを今後検討していきます。
【施策名】施策13 都市機能・住環境(展開方向2)		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングプラットフォームなど、新しい都市機能のあり方として、制度を越えた取組などの記載の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 制度を超えた取組の1つとして、庁内関係部局などと横断的に連携して、地域の特性を活かした施策を提案していく取組を始めています。これは今後のまちづくりには重要な視点だと考えています。これらを踏まえ、ご意見に関連するものとして、展開方向2に「分野横断的な公共空間の利活用の推進」と記載しました。
【施策名】施策13 都市機能・住環境(展開方向どこか)		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会を市として目指す中、環境負荷の小さいまちづくりを進めていく視点の追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の視点を、「主な課題」に記載しました。
【施策名】施策12 環境保全・創造(展開方向1)		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会を市として目指す中、まちの姿(都市基盤)を示すことが絶対必要。都市機能・住環境との連携を踏まえた記載方法の検討。 ・企業のかかわり方についての記載の検討。 	<p>【花田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会を実現するためのまちの姿については、横断的に取り組む必要があり、施策12に関する取組のみでは記載が困難であるため、施策13と連携し記載を検討します。また、検討中の総合計画の構成では、施策がシートごとに分断されており、委員からの指摘にあるような他施策との連携については対応ができないため、現行の計画にある「主要取組項目」のような部分で対応を検討します。 <p>【小坂委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者といった各主体の連携のもと、地球温暖化対策の中長期的な方向性を示す尼崎市地球温暖化対策推進計画においては、事業者に対しては「事業活動に伴う環境負荷の低減」や「環境関連製品・サービスの提供」の視点からかかわっていただくことをお願いしているほか、施策として「環境経営の推進」や「環境関連製品・サービスの普及」などに向けた支援に取り組むこととしています。

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策12 環境保全・創造(展開方向2)		
9	・サーキュラーエコミーの概念についての記載の検討。	サーキュラーエコミーの実現は3Rの徹底による循環型社会の実現と共に目指すべき上位概念であると考えられるため、「主な課題」において、リデュースを中心としたごみ減量の先にサーキュラーエコミーの実現があり、それを旨とする必要があることを記載します。
【施策名】施策11 地域経済・雇用就労(展開方向1か2)		
10	・SDGsに対して中小企業が参画するための取組内容についての記載の検討。	SDGsの推進は企業にとってビジネスチャンスであり、企業価値向上に資するものと認識しています。 ついては、SDGsの取組をポイント化したあま咲きコインの利用機会を増やすとともに、持続可能な制度構築に資することを目的に、民間原資によるあま咲きコインの発行を令和3年度より開始しています。 また、あまがさきSDGsパートナー登録制度についても広く周知することで登録を促進し、これら登録企業との新たな連携施策の展開も視野に入れていきます。
【施策名】施策10 消防・防災(展開方向2)		
11	『防災教育の充実』、『事業者や福祉施設等のBCP強化支援』の2点について、キーワードが取組内容に追加できないか。	・防災教育については、「5 施策の展開方向」-「展開方向②」中、「大規模災害や感染症まん延下での災害を想定した対応訓練の実施」のキーワードに追加する。 →現状においても、学校、地域、行政が連携・協働して1.17訓練を実施しているほか、避難所である学校施設を使用して地域防災訓練を実施しており、併せて防災講座を実施するなど、学校との連携を図りつつ、地域の人材育成にも取り組んでいるところである。 ・「事業者や福祉施設等のBCP強化支援」の取組については、本市としても重要な取組と認識しており、「5 施策の展開方向」-「展開方向②」中、「大規模災害時の防災体制について整備を進めるとともに、市民、事業者、民間団体、行政機関等との連携を強化し、防災の取組を推進」の中に包含しており、これらの取組の中で引き続き実施していく。 →現状の取組としては、公益財団法人尼崎地域産業活性化機構が市内中小企業者を対象に減災アドバイザー派遣事業を実施している。また、令和3年度から、介護サービス事業者や障害福祉サービス事業所等に対し業務継続計画の策定等が義務付けられた。(3年の経過措置期間あり)
【施策名】施策13 都市機能・住環境(展開方向1か2)		
12	『南部臨海部の活性化』をどこかに追加できないか。	南部臨海部を含めて、本市には様々な特色を持つ地域があり、その特色を生かしたブランディングを進めていく意図を込めて、各地域の用途を示す地図を挿入しました。 また、南部の工業専用地域は大部分が港でもあるため、兵庫県が現在改定中である港湾計画と足並みを揃えて、令和5年度に改定する都市計画マスタープランで触れていく予定です。